

みんなでつくる 森ものがたり

2023年3月5日発行 第145号

油山自然観察の森
森を育てる会



〒811-1355
福岡市南区大字桧原855-4
油山市民の森管理事務所内
TEL: 092-871-6969
FAX: 092-801-1463
<http://www.morikai.org/>
mail: aburayama@morikai.org



<2/12 シイタケコマ打ち作業>

表紙	1
活動ノート (12/4,12/11,1/8,1/13,1/29,2/5,2/12)	2~4
特集「2022 年度の活動の振り返り」	5~6
油山のお仕事日記「ヤブツバキ群落」	7
「私が森にいる理由」	7
うん・えー会報告 (12/4)	8
活動予定	8

「森を育てる会」は福岡市油山自然観察の森の保全活動を通じ、広く緑地保全活動を行う市民の育成・交流を行う事を目的とする市民グループです。活動は（公財）福岡市緑のまちづくり協会の助成を受けて行っています。**会では、随時、会員を募集しています。**興味がある方はメールまたは電話でご連絡下さい。

活動ノート



12月4日(日)
アカマツ林整備作業
13:30~15:30



◆参加者：8名

◆内容：うん・えー会の後、アカマツ林の整備を行いました。曇天ながら寒いほどではなく作業しやすい天候でした。三班に分れA及びC～E地区の草刈り及び萌芽枝刈りを行いました

一班は1月に予定している高校生研修の準備を兼ねて、遊歩道より山側のA、C、D地区のススキ等丈の高い草やサルトリイバラ等棘のある植物の刈り取りを行いました。

二班はC地区の谷側、遊歩道から作業道間の急斜面のシダ等を刈払機を使って、安全に留意しながら刈払いました。

三班はD、E地区の谷側、こちらも急斜面ですが広葉樹の萌芽枝やシダを道具を使い分けながら手作業で刈りました。

繁茂した草木に覆われ幼木・実生が埋もれていたアカマツ林、10月からの計3回の整備作業で一部を残してはいますが日当たり良好な状態になりました。本日が今年最後の活動になりましたが、気分もスッキリと年を越せそうです。

【ふりかえりより】

・赤松の幼木を数多く見かけました。来年の様子を楽しみにしたいと思いました。

・時間が短い中でしたが、しっかり草刈りでできて良かったと思います。

12月11日(日)
納会
9:30~13:50



◆参加者：12名

◆内容：小雨が降り、納会が無事に出来るかと心配をしながらスタートしました。

カブ森ではC地区からB地区・A地区に移動しながら、活動を始めた30数年前の森の様子を聞き、活動を続けたことが現在の森を形成させている事を知りました。春にはムササギケマンが咲誇った事、榎木をつくる為にクヌギを伐倒したままにしている事、クヌギの萌芽更新の様子などの話を聞きました。

次に、アカマツ林に移動し五か年計画の説明を聞きました。福岡地区では油山しかアカマツの群落が存在しないことを知り、アカマツを保護する活動の大切さを知りました。

A地区～F地区を移動しながら今年の振り返りを確認、アカマツを保護する為には松の落ち葉を取る「地力キ」と「下草刈」を行わないと松の幼木が生えてこない事、また急傾斜地の下草刈りが進まないことの説明も聞きました。

昼食後、活動全般を振り返りました。保険の話や女性の意見を反映

させなければという話が出ましたが、特別扱いではなく、体力がある人はそれなりの作業、そうで無ければ別の作業があり、その他の行事で木工や昆虫調査・草木染など楽しみがなければ活動が継続できないという意見がでました。伐採作業は達成感があるがそれだけでは年24回、何十年も活動を続けることが出来ないのでバランスを考えて行う必要があります。

その後、毎年恒例のオカリナ演奏を聴きながら合唱。「星めぐりの歌」・「君をのせて」・「アンパンマンのマーチ」・「カントリーロード」の4曲を演奏して頂きました。

そして、大人は松葉相撲、子供達は宝探し。景品が掛かっているのでみんな声を弾ませながら宝を探してくれました。子供たちの弾んだ声は参加者全員を笑顔にさせてくれました。

柏陵高校受け入れ準備班は調査区の縄張りも行いました。

【ふりかえりより】

・一年最後の活動が楽しく出来ました。来年も頑張って楽しみたいと思います。

1月8日(日)
臨時活動
シイタケ榎木作り、材処理
9:30~15:00



◆参加者：13名

◆内容：これまで榎木作りはチェーンソーを使用することから、「特別活動」として平日に行ってきましたが、参加者の確保が難しくなってきたこと、定例活動でもチェーンソーを使う機会が増えてきたこと、保険の問題が解消したことから新たに「臨時活動」として初めて日曜日に設定しました。その結果、子ども会員4名を含め13名の参加を得て賑やかな活動になりました。

A地区観察小屋跡前で作業概要の説明をした上で2班に分け、1班はチェーンソーを使用するグループ、2班は子どもを含めた材処理グループとしました。

午前中1班はC地区に向かい、伐採されていた1本を玉切りし、材処理をした後に、扱いにくい太目の部分を除いて、15本の榎木を作って遊歩道脇に積みました。枝葉はヤードに投入し、太目の材は現地に並べて虫などの揺籃としました。

2班は2本の材処理を行い、川の右岸に搬入したうえで、更に細かくして見栄え良く整理しました。

午後は1班もA地区に戻って玉切りをし、それに合わせて2班と一緒に材処理をしました。

A地区では若干太目のものも含め25本の榎木が採れて、湿地下の遊歩道沿いに積みました。

午後の材処理は早めに終わったので、子ども達は遊歩道の落葉掻きをしてくれました。

【ふりかえりより】

・初めてのシイタケ榎木作り作業に参加して、枝カット、木を移動するなどいろんな作業を知ることが出来、学び多い一日でした。
・久しぶりにチェーンソーで玉切りに取り組みました。安全に終わって良かったです。チェーンソー整備も思い出しながらできて良かった。

1月13日(日)

柏陵高校環境科学科油山研修
9:30~15:30



◆参加者：会員7名、
柏陵高校教師3名、生徒37名、
レンジャー1名

◆内容：アカマツ林・カブトムシの森での里山保全活動に関する現地説明、油山の動植物に関する生態系や植物遷移、市民の森や森会の歴史や里山保全活動の目的・方法などに関する室内講習を行いました。

雨天になる予報だったため、これまでアカマツ林で行ってきた「アカマツ幼木探し」、「地掻き」、「伐倒体験」から、上記の雨天バージョンに急遽変更しました。先生からは有意義な研修だったとの報告であったが、生徒はやはり屋外の活動の方が楽しいように感じられました。

来年度は、午前中カブ森での自然観察と伐倒体験。午後幼木探しと地掻きをする案について考えたいと思います。

1月29日(日)

カブ森作業
クヌギの伐採、草刈り
9:30~16:00



◆参加者：11名

◆内容：C地区東屋に道具を置いた後、作業に先立って、1月8日に作ってC地区並びにA地区

に積んでおいた榎木用材を、車に搭載できる場所まで持ち上げました。作業前の良いウォーミングアップでした。

東屋に戻って作業内容の確認をした後、A地区とC地区の2班に分れて作業に取りかかりました。

A地区班は午前中かけて、休憩小屋北側の直径29cmのクヌギを伐採、午後は西側遊歩道脇の直径27cmのクヌギを倒しました。その後材処理に移りましたが、チェーンソーがC地区班から届いたのが整備で遅れた為、玉切りは遊歩道に掛かった部分だけで時間切れとなりました。

C地区班は平坦部分の中心辺りにあった直径38cmのクヌギの伐採に取り掛かりました。これまで伐倒に本格的に関わってなかった方が多かったため、安全な伐倒についての説明を聞きながらじっくり取り組み、昼食までに受け口が完成しました。

午後になって伐倒、続いてチェーンソーも使った材処理、玉切りをしました。手が空いているときに、斜面でのササ刈りも少々行いました。

【ふりかえりより】

・倒す方向に向けての受け口の印づけなど重要だと思いました。鋸はまっすぐ水平に切ることの難しさを実感。皆、安全面に常に気を配ってあるのが素晴らしい。自分も気をつけようと思いました。

2月5日(日)

アカマツ林整備
9:30~16:10



◆参加者：8名

◆内容：風もなく冬晴れの穏やかな日和のなか、年明け最初のアカマツ林整備作業を行いました。シダと萌芽枝刈り及び広葉樹の除伐を2班に分かれて実施しました。

シダと萌芽枝刈りの場所はC地区のガイダンス広場直下の崖部と、斜面中腹の作業道から下の一部及び遊歩道から下の傾斜地、更にD地区の尾根部の秋以降の作業で刈り残したエリアを対象に行いました。

生長して茎が硬くなったシダ、太さも大小あり棘性のもも混じった萌芽枝を中厚鎌、長柄鎌、剪定鋏、刈込鋏、ノコを駆使しながら刈りました。延べ6人がかりでしたが、C地区は刈り終えたもののD地区は次回に持ち越し部分もあるほど量も多く、ハードな作業となりました。この作業で更にアカマツの実生、幼木の日当たりが良好となりました。

広葉樹の除伐は午前中、D地区斜面下部の直径24cmのユズリハを対象に行いました。班はベテランと経験の浅いメンバー4人で組み、伐木の技術、安全の基本を再確認しながら丁寧に作業を進め、最後はセオリー通りクサビ打ちで目標方向に倒しました。午後はチェーンソーも使い玉切り、枝落としの材処理を行いました。

E地区の除伐は足元が危険な崖部に立つ直径25cmのアラカシが対象でした。チェーンソーも使える経験豊富なメンバーで、まずは太い枝を高枝ノコで落とし、掛り木の危険がある谷側に傾いていた重心の調整をし、目標方向を定めてロープを張って、チェーンソーで受け口削いで追い口切り。最後はクサビをかまして、ロープを引いて倒しました。またこのエリアでは直径3~10cmの小径木を十数本除伐しました

その結果、水の森へ向かう遊歩道から見上げると遮るものなくE地区のアカマツ林が見通せる明るい状態になりました。計画した作業をほぼ完了でき充実した一日でした。

【ふりかえりより】

・2週連続の伐倒でしたがまだまだ覚えることが多いので、経験を積んでいければよいなと思いました。

2月12日(日)
シイタケコマ打ち作業
9:30~12:00



◆参加者：16名

◆内容：朝から快晴で風もなく穏やかな日に、シイタケの駒打ち作業を行いました。はじめにシイタケ栽培について、クヌギの伐採、葉枯らし、玉切り、コマ打ち、仮伏せ、本伏せの流れの説明を行いました。シイタケのコマ打ちについては、縦20cm、横4cm間隔で打つこと、および電気ドリルの安全な使い方を説明しました。その後、保管していたホダ木を自然観察センター前の広場に、細い木から太い木の順番に並べ、細い木から順番に電気ドリルで穴開けを行いました。標準の直径10cmのホダ木であれば約40個の駒を打ちました。ホダ木は直径7cmくらいから直径20cmくらいまでありました。最初は細いホダ木でスムーズにコマうちができたのですが、太いホダ木となると運搬も大変で、その後、木が硬いためか、ドリルが木に入るととれないというトラブルが多数発生。森会のドリルは、パワー不足で歯が立たず、自然観察センターから借りた電気ドリルが活

躍しました。最終的に約40本のホダ木に駒を打ちました。最後に井桁状にホダ木を積み、遮光シートをかけて仮伏せしました。

【ふりかえりより】

・コマ打ち初体験でした。電動ドリル使用にあたっての安全事項を確認して作業を進めることを心がけました。貴重な体験をさせていただきました。

アカマツ林整備作業
12:50~15:30



◆参加者：10名

◆内容：しいたけコマ打ち後の午後、今年度最後のアカマツ林整備活動を行いました。

道具は事前に道具係と世話役だけでリヤカーに積み込みこんで準備し、速やかに作業開始。作業時間は正味1時間半の短い活動でしたが、分担して予定通りの作業を終えることが出来ました。

D及びE・F境界付近と遊歩道沿いのシダ・萌芽枝刈り、E地区で先週除伐した広葉樹アラカシの材処理を行いました。

次回作業で除伐予定の広葉樹周辺の作業環境も整えることが出来、伐った材をまとめ置くヤードの整備やD・E地区の作業道ルートも考え、作業後は全員で来年度の整備内容をイメージながら作業の振り返りを行いました。

【ふりかえりより】

・森の手入れはとても大変であることがよく分かりました。今後どのように変わってくるのか楽しみです。

・前回伐採したアラカシの材処理、相変わらず急斜面での作業での気が抜けない作業でした。

特集＜2022 年度の活動の振り返り＞

2023 年度は、5ヶ年計画最終年であり、次の5ヶ年計画を策定する必要があります。そこで今回は、2022 年度のカブトムシの森、アカマツ林に関する活動を振り返りたいと思います。

活動名	カブトムシの森作業	世話役名	静間
活動目的 年間目標	・ A地区中心にクヌギ、コナラの伐採と萌芽更新の促進 ・ ネザサ、イタドリ等の雑草、萌芽枝、常緑樹実生の刈り取り ・ 複層林化の促進とギャップでのクヌギ、エノキ実生の育成 ・ クマノミズキ、アラカシ等の高木伐採		
活 動 実 績			
月 日	内 容		
4/17	A 地区でクヌギ伐採と材処理、A 地区での草刈り		
5/29	A、B 地区で草刈り ※午前は海の中道のボランティアがC 地区で草刈り体験		
7/3	草刈り（A 地区手作業、 C地区刈り払い機）		
10/16	A 地区で草刈り		
11/6	A 地区で楢木用クヌギ等伐採と草刈り ※玉切りは 1/8 臨活、運搬は 1/29		
1/29	A、C 地区でクヌギ伐採		
3/19	同上予定		
（良かった点） ・ A、C 地区のクヌギ、コナラの伐採が進んだ ・ 特に A 地区でクヌギの萌芽更新の景色が目立つようになった			
課題・その原因・改善点 ・ A 地区のヒメヒオウギズイセンは地道に除去していくしかない。根絶は困難？ ・ B 地区沢沿いの常緑高木の伐採 ・ 森会では対応が難しい位に成長した高木への対処 ・ ナラ枯れへの対応		対策・改善案 ・ 今後も除去作業を継続する ・ 臨活でチェーンソーでの伐採をする ・ 引き続きセンターに依頼していく ・ 推移を見ながら、必要に応じて管理事務所などと情報共有して、被害木処理、予防などに当たる	

活動名	カブ森植生調査	世話役名	鎌田・柴戸
活動目的 年間目標	カブトムシの森づくりに役立てる 草本植物の変化を調べることで、会員に除間伐の効果を実感してもらう。		
活 動 実 績			
月 日	内 容		
4月 17 日 10月 16 日	カブトムシの森 A 地区にある旧コドラート A において、草本調査を行う。（春と秋の2回）		
成果（良かった点） 春と秋の調査が実施できた			
課題・その原因・改善点 新しい種が中々侵入してこない		対策・改善案 より豊かな植物相を形成するため試験的に裸地（人為的なかく乱）を作り、埋土種子や近隣からの飛来による発生を促すと共にカブトムシの森以外の市民の森内からの表土移植や種子採取・散布などを行いたい	

活動名	アカマツ林整備	世話役名	国広
活動目的 年間目標	アカマツ群落保全のため広葉樹の除伐により植生遷移を防ぎ、草・萌芽し刈りや地掻きにより実生・幼木の生育促進を図る。 【作業目標】①草・萌芽し刈り（保存対象植物は保護）②E地区を中心に広葉樹の除伐・材処理（保存対象樹は残存）③作業道・ヤードの整備④アカマツ幼木の間伐		
活動実績			
月 日	内 容		
4月3日 （11名）	D地区斜面下部で伐倒済みタブノキ（φ35cm）の材処理（チェーンソーによる太枝落とし・幹の玉切り、ヤードへの運搬・細枝の細断、ヤードの古材整理） C～F地区の斜面及び遊歩道沿いのシダ刈り		
10月2日 （13名）	A、C、D地区遊歩道沿いの草刈り C、D地区斜面及び作業道の草・萌芽し刈り（作業道より下部に刈払機2台）		
11月20日 （7名）	C地区作業道より上部斜面、D地区斜面及びE地区崖部のシダを主の草・萌芽し刈り。A、D、F地区で柏陵高校研修（体験伐倒）の対象木選定		
12月4日 午後（8名）	A地区の棘性植物等の除去（柏陵高校研修準備） C地区作業道から遊歩道間斜面のシダ刈り（刈払機1台） D、E地区斜面の萌芽し・シダ刈り		
1月13日	<雨天中止>		
2月5日 （8名）	C、D地区のシダ・萌芽し刈り 広葉樹の除伐（D地区・ユズリハ φ24cm、E地区・アラカシ φ25cm及び周辺の小径木十数本 φ3～10cm）（ユズリハの材処理、アラカシの伐倒にチェーンソー使用） 〔予定〕D、F地区のシダ・萌芽し刈り及びE地区の除伐済み広葉樹の材処理		
2月12日 午後（名）			
成果（良かった点） ●これまでの長年の活動で日当たり良好となったC～E地区に実生・幼木が増え、幼木の生長も顕著となっているが、今年度もシダ・萌芽し刈りがほぼ予定通り行え、更なる生長が期待できる。 ●植生遷移を抑制するための広葉樹の除伐・材処理も実施できて、見通しも増しアカマツ群落としての景観も更に良くなった。 ●刈払機、チェーンソーの機械道具を必要に応じて使用し、効率的な作業ができた。 ●傾斜地の作業、伐木作業、危険を伴うが安全作業で怪我無く実施できた。			
課題・その原因・改善点 ●世話役が活動日に参加出来なくなることがある ●作業道の新規整備（D～E地区）、補修（C～D地区）＊自然劣化、イノシシ害 ●崖地の作業に危険が伴う ●伐木作業の技量アップと安全作業 ●草刈りや伐倒に際し、急斜面で足場の悪い危険な場所が多く、子供や見守り者の作業場所が限定的になりがち ●機械道具の使用による事故リスク		対策・改善案 ➢活動実施手順（世話役の役割）を資料化。 これをもとに助役に代行を依頼 ➢新規整備についてはシダ・萌芽し刈りを行いながらルートを決める。補修は除伐した材を活用して適宜、修復維持する。 ➢足場が確保できない場所は無理に作業しない 作業経験も加味して人選する ➢ベテランの指導の下、リーダー等中心的役割で経験を積んでもらう班構成とする 基本作業の遵守を徹底する ➢遊歩道沿いや緩斜面での草刈り作業に加え、ノコ引き体験なども実施してみる ➢基本的な安全事項（防具の着用、近接作業の禁止、足場確保、適切な作業交代）を守って作業を行う	



油山のお仕事日記

「ヤブツバキ群落」

油山市民の森・自然観察指導員 小川真樹

油山で、福岡県レッドデータブック（RDB）に掲載されている植物群落といえば・・・？森会の皆様ならもちろんご存知の「アカマツ林」ですよね。人の営みの変化とともに山の管理が行われなくなり、常緑樹が成長し、水や栄養の獲得競争が得意でないアカマツの林が減少しています。油山のアカマツ林は RDB カテゴリーⅠ「緊急に対策が必要」とされています。森会の役割の大きさがわかりますね。

ところで油山にはもうひとつ、県 RDB 掲載の植物群落があるのをご存知でしたか？今回のお仕事日記のタイトルにもなっている「ヤブツバキ群落」がそうです。RDB2011 に記載されている選定理由を読むと、“ヤブツバキは照葉樹林では普通に含まれる種であるが、椿油をとるために選択的に伐り残されて優先種となった群落である。油山の谷沿いではスダジイなどの照葉樹が成長してヤブツバキは減少している。”とあります。折々に語られる椿油の逸話と重なる森がこの市民の森に残っているのです。場所の記載もあります。“油山では自然観察の森の渓流沿いにヤブツバキが多く見られる群落が成立している。”・・・確かに、メジロ小屋のまわり、ヤマガラ小屋から子ども広場にかけて、沢沿いにはヤブツバキが多く生育しています。個体数も相当数ありますが、その辺りはシイやカシが優先しており、ヤブツバキは林床で細々と生きている感じです。市民の森開園前は炭焼きが行われており、自然観察の森はもっと明るい環境であったはずです。当時、今より明るい木漏れ日が降り注ぐ森では、ヤブツバキの花が咲いて、油搾り用の果実の採取も行われていたのかもしれないね。

自然観察の森で、ヤブツバキ群落をシンボルとした森づくりができればいいと思います。かつて森会がアカマツ林を守ろうと立ち上がったように。



子ども広場東側（2023年2月撮影）

私が森にいる理由

カブトムシの森の提案者、弦間さんが、九州旅行の折、約30年ぶりに油山を来訪されました。当時の思いを聞きました。

○ 経緯

（財）日本野鳥の会（現（公財））職員の私が、レンジャーとして油山自然観察の森に着任する前、



カブ森で当時をふりかえる
弦間さん 2022年11月22日

「福島市小鳥の森」の立ち上げに関わりました。1980年代初頭の福島でも里山はあまり利用されなくなっていました。森林が、子供達の自然観察の場となり、以前の里山を追体験もできれば、と考えました。それで、油山に来て、甲虫が観察できる森をつくることを福岡市に提案しました。

Q. 植栽後30年クヌギは大木になり、伐るのに苦労している。一般的に森林管理計画で感じることは？

A. ボランティア、現場の指定管理者、行政担当部署の顔ぶれは、うつりかわっていきます。それら関係者で、数年ごとに、森の目的を確認し、「だからこういう周期的管理をする場ですよ」等と共有することが大切ではないでしょうか。

Q. 木が大きくなって本格的に伐り始め、今、太くなった材の林外への持ち出し、活用が大変。今年度は事情で指定管理者による薪づくりもなかった。

A. どこでも材の活用は大変。福島では、被爆のことがあるので、なお大変。森の放射線の線量を減らすため大木は業者さんに伐採・搬出してもらいました。根際の株が残っていて、木材腐朽菌で、腐朽を早めるのが目下の関心。（聞き手 柴戸）

1993年10月26日のカブ森



1992年から3ヵ年 カブトムシの森整備事業
1994.7.22 カブトムシの森 オープン記念式典
弦間一郎さん油山在任は1989.10～1993.10

うん・えー会報告

2022年12月4日(日)、9:30~12:20

出席者: 11名

1. 8~11月活動報告

- 8月21日(日) 備品管理
- 9月4日(日) 木工教室
- 9月25日(日) 草木染め
- 10月2日(日) アカマツ林作業
- 10月16日 カブトムシの森作業
- 10月16日 カブトムシの森植生調査
- 11月6日 カブトムシの森作業
- 11月20日 アカマツ林作業

2. 12~3月 活動予定

- 12月11日(日) 納会(柏陵高校研修準備)
- 1月13日(金) 柏陵高校研修(対外支援活動)
- 1月15日(日) アカマツ林作業
- 1月29日(日) カブトムシの森作業
- 2月5日(日) アカマツ林作業
- 2月12日(日) シイタケのコマ打ちとアカマツ林作業
- 3月5日(日) 総会(定点写真撮影)
- 3月19日(日) カブトムシの森作業

3. 2022年度会計中間報告

4. その他

- OJR九州による油山市民の森リニューアル計画についての工事計画説明会報告
- O2023年度指定管理者変更に伴う森会活動への影響事項について
- O備品管理他などの世話役補助について
- O事務局からの連絡事項: ・2022年度世話役振り返り様式をR5.1に送付予定
- O2023年2月18日東急建設ボランティア体験希望について

5. 発送作業 ①会報 144号



活動予定(2023年3月)

★〈作業〉〈調査〉〈観察〉は小雨決行

〈うん・えー会〉〈勉強会〉は雨天決行

活動時間: 9:30 集合 ~ 15:30 解散

★荒天の場合はセンターまでお問い合わせください。

★活動内容は、当日の参加人数、天候等によって変更になる場合があります。

★〈作業〉の標記のある日の服装は「森会スタイル」(長袖、長ズボンで安全に作業ができる動きやすい服装)でご参加ください。必要な持ち物は いぼ付軍手・帽子・タオル・弁当・飲物・おやつ・筆記用具の他、必要に応じて着替え・雨具をご持参ください。



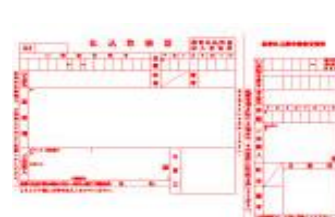
3月19日(日) カブトムシの森作業

伐採と草刈りを行います。

◆新年度の活動予定は今後、HPでお知らせします。
(<http://www.morikai.org>)

会員登録更新手続きのご案内

保険加入のため、書類の提出、会費振込などの更新手続きは、3/24までに済ませてください。
お忘れになりませんように!!



油山自然観察の森 森を育てる会

会報『森ものがたり』 季刊

編集担当: 川上、平野、鎌田、静岡、松雪
